

令和2年度(2020年度)

管理事業名	農業振興事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 1 施策 1	都市魅力 地域経済の活性化を図るまちづくり 産業振興と創業支援
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 6	農業費	(項) 1	農業費	(目) 2	農業総務費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	地域経済振興室				
予算大事業名 一般事務事業 農業振興事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)農業費(項)農業費(目)農業振興費 農業振興事業						
事業の目的と概要 【目的】農業の振興を目的とします。 【内容】 ・市民が花とみどりにふれあえる場を提供することを目的とし、農家に草花の栽培を奨励するため、栽培を行う農家に花の種子を配付し開花状況に応じて助成金を交付します。 ・農地の有効活用のために市民農園を開設する農家に対して、補助金を交付するとともに農園利用者への栽培講習会を開催します。 ・市民の農業・農地に対する理解を深めるため、水稲やさつまいも等の農作物の作付から収穫までを体験する事業を実施します。 ・吹田市産農作物の地元での消費を図るため、産業フェアや朝市等のイベントで、特産品の「吹田くわい」や地場野菜等の販売を行います。また、特産品の栽培奨励のための助成金を交付します。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
景観形成作物の開花面積	m ²	40,827	47,604	42,829	農家によって栽培された、市内農地の景観形成作物の開花面積
農作業体験事業の参加者	人	129	114	0	農作業体験「ふれ愛農園」の参加者数
市民農園数	園	21	19	18	吹田市内の市民農園数
生産緑地面積	ha	44.96	45.26	45.35	生産緑地の面積
成果の説明	景観形成作物の栽培については、農家の高齢化や農地の減少が進んでいますが、継続的に取り組んでいる農家も多く、そこで栽培される「花の観賞会」にも多くの市民の申し込みがあります。 農作業体験事業への参加者数については、令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言等により事業を中止しました。 吹田市内の市民農園数は微減しています。 生産緑地の面積は微増しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	799	2,871	468	△2,402
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	344	293	10	△283
経常収入 小計(a)	1,143	3,163	478	△2,685
給与関係費	24,022	23,702	20,681	△3,021
物件費	1,460	1,338	1,326	△12
維持補修費	-	886	429	△457
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,217	6,168	2,252	△3,916
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,567	1,581	1,495	△86
退職手当引当金繰入額	1,351	383	△392	△775
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	31,617	34,058	25,792	△8,265
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△30,475	△30,894	△25,314	5,580
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△30,475	△30,894	△25,314	5,580
一般財源充当額	30,734	31,889	27,096	△4,793
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	259	995	1,782	787

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
府支出金(経常費用充当)	農業経営構造対策補助金 0千円(△2,324千円) 経営所得安定対策等推進事業費補助金 412千円(△78千円) 大阪版地方分権推進制度交付金 56千円(△1千円)
維持補修費	紫金山公園内水田排水路改修工事 0千円(△886千円) 千里北公園内農作業用小屋屋根修繕業務 429千円(+429千円)
負担金・補助金・交付金等	被災農業者農業用ハウス修繕等事業補助金 0千円(△3,098千円) 市民農園関係事業に係る補助金 925千円(△675千円) 花とみどりふれあい農園推進事業助成金 542千円(△57千円) ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,143	3,163	478	△2,685
行政サービス活動支出	31,877	35,052	27,574	△7,478
行政サービス活動収支差額	△30,734	△31,889	△27,096	4,793
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△30,734	△31,889	△27,096	4,793
一般財源充当額	30,734	31,889	27,096	△4,793
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容
(行政サービス活動収入) 農業経営構造対策補助金 0千円(△2,324千円) (行政サービス活動支出) 被災農業者農業用ハウス修繕等事業補助金 0千円(△3,098千円) 給与関係費 20,681千円(△3,021千円)

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人当たりのコスト	平成30年度	371,030 人	85 円	市民1人あたり、68円のコストがかかっています。(令和3年3月31日現在の吹田市の人口で算出しています) 給与関係費の減少と臨時事業の被災農業者農業用ハウス修繕等事業の終了に伴いコストが減少しています。
	令和元年度	373,978 人	91 円	
	令和2年度	376,944 人	68 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,581	1,495	△86
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,581	1,495	△86
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	258,726	258,726	-	固定負債	14,945	13,249	△1,696
有形固定資産	258,726	258,726	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	14,945	13,249	△1,696
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	16,526	14,745	△1,782
固定資産	-	-	-	純資産	242,200	243,982	1,782
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	258,726	258,726	-	負債及び純資産の部合計	258,726	258,726	-

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

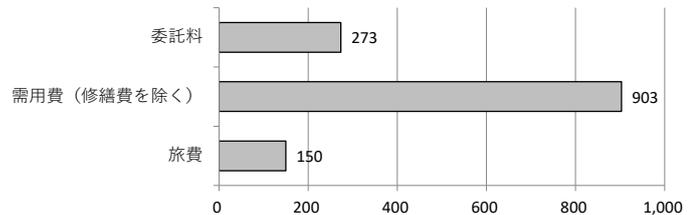
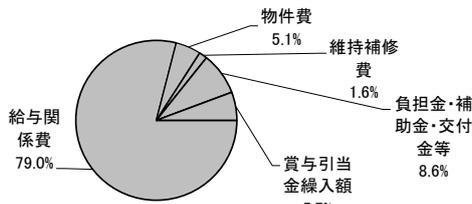
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	2.23 人	234 日	日	21,785
給与関係費等	17,528 千円	4,257 千円		
内、時間外勤務手当	532 千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		96.4	91.0	98.3	7.3

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものは、給与関係費20,681千円(79.0%)、負担金・補助金・交付金等2,252千円(8.6%)、物件費1,326千円(5.1%)です。負担金・補助金・交付金等については、農業振興事業に係る補助金及び助成金(市民農園関係に係る補助金、花とみどりふれあい農園推進に係る助成金)や、大阪府農業共済組合負担金などが主な内訳です。物件費については、農作業体験事業に係る委託料や地産地消の推進事業に係る需用費などで構成されています。事業の財源は大半が一般財源であり、特定財源は、府から交付される経営所得安定対策等推進事業費補助金と会計年度任用職員の雇用保険料本人負担分です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本市は全域市街化区域のため、都市部に農地が点在しており、住宅地と隣接していることから、農薬散布、農業用水の確保などが困難で農業経営には厳しい環境となっています。しかし、食育にかかる農作業体験、安心、安全な農産物を身近で求める市民ニーズに合致した地産地消の推進、また農地保全にかかる市民農園や花とみどりふれあい農園関係など、都市部の農地の多面的機能を活用する農業振興事業は、必要な事業と考えます。今後、生産緑地法の改正に伴い農地のさらなる減少も予想されますが、市民の農業・農地に対する理解の醸成に努め、農業振興関連施策を継続してまいります。